

この度は、統合開発環境 CubeSuite+をご使用いただきまして、誠にありがとうございます。

この添付資料では、本製品をお使いいただく上での制限事項および注意事項等を記載しております。ご使用前に、必ずお読みくださいますようお願い申し上げます。

目次

第 1 章	対象デバイスについて	2
第 2 章	ユーザーズ・マニュアルについて	3
第 3 章	アンインストール時の選択キーワード	4
第 4 章	変更点	5
4.1	OS タイマ対応シミュレータの変更点	5
4.1.1	データフラッシュの扱いについて	5
第 5 章	注意事項	6
5.1	CPU に関する注意事項	6
5.1.1	CPU 動作クロックに関する注意事項	6
5.1.2	乗除算器、積和演算器に関する注意事項	6
5.1.3	PMC ジスタの対応	6
5.2	周辺機能（タイマ、その他）に関する注意事項	6
5.2.1	クロック設定に関する注意事項	6
5.2.2	クロック発生回路に関する注意事項	6
5.2.3	ノイズ・フィルタ機能に関する注意事項	6
5.2.4	RL78/G14 使用時の注意事項	7

お知らせ：

本資料の以下のページに訂正、追加がございます。

- Page 3 第2章 ユーザーズ・マニュアルについて 資料番号

第1章 対象デバイスについて

RL78 OS タイマ対応シミュレータは、RL78 CPU コアのシミュレーションに加え、リアルタイム OS が使用されると思われる「ユニット0のCH0~CH3」をインターバル・タイマ・モードとして、シミュレーションを実現したシミュレータです。

RL78 OS タイマ対応シミュレータのサポートするデバイス一覧を以下に示します。

愛称	デバイス名
RL78/G12	R5F10266, R5F10267, R5F10268, R5F10269, R5F1026A, R5F10366, R5F10367, R5F10368, R5F10369, R5F1036A, R5F10277, R5F10278, R5F10279, R5F1027A, R5F10377, R5F10378, R5F10379, R5F1037A, R5F102A7, R5F102A8, R5F102A9, R5F102AA, R5F103A7, R5F103A8, R5F103A9, R5F103AA
RL78/G13	R5F100SL, R5F100SK, R5F100SJ, R5F100SH, R5F101SL, R5F101SK, R5F101SJ, R5F101SH, R5F100PL, R5F100PK, R5F100PJ, R5F100PH, R5F100PG, R5F100PF, R5F101PL, R5F101PK, R5F101PJ, R5F101PH, R5F101PG, R5F101PF, R5F100ML, R5F100MK, R5F100MJ, R5F100MH, R5F100MG, R5F100MF, R5F101ML, R5F101MK, R5F101MJ, R5F101MH, R5F101MG, R5F101MF, R5F100LL, R5F100LK, R5F100LJ, R5F100LH, R5F100LG, R5F100LF, R5F100LE, R5F100LD, R5F100LC, R5F101LL, R5F101LK, R5F101LJ, R5F101LH, R5F101LG, R5F101LF, R5F101LE, R5F101LD, R5F101LC, R5F100JL, R5F100JK, R5F100JJ, R5F100JH, R5F100JG, R5F100JF, R5F100JE, R5F100JD, R5F100JC, R5F101JL, R5F101JK, R5F101JJ, R5F101JH, R5F101JG, R5F101JF, R5F101JE, R5F101JD, R5F101JC, R5F100GL, R5F100GK, R5F100GJ, R5F100GH, R5F100GG, R5F100GF, R5F100GE, R5F100GD, R5F100GC, R5F100GA, R5F101GL, R5F101GK, R5F101GJ, R5F101GH, R5F101GG, R5F101GF, R5F101GE, R5F101GD, R5F101GC, R5F101GA, R5F100FL, R5F100FK, R5F100FJ, R5F100FH, R5F100FG, R5F100FF, R5F100FE, R5F100FD, R5F100FC, R5F100FA, R5F101FL, R5F101FK, R5F101FJ, R5F101FH, R5F101FG, R5F101FF, R5F101FE, R5F101FD, R5F101FC, R5F101FA, R5F100EH, R5F100EG, R5F100EF, R5F100EE, R5F100ED, R5F100EC, R5F100EA, R5F101EH, R5F101EG, R5F101EF, R5F101EE, R5F101ED, R5F101EC, R5F101EA, R5F100CG, R5F100CF, R5F100CE, R5F100CD, R5F100CC, R5F100CA, R5F101CG, R5F101CF, R5F101CE, R5F101CD, R5F101CC, R5F101CA, R5F100BG, R5F100BF, R5F100BE, R5F100BD, R5F100BC, R5F100BA, R5F101BG, R5F101BF, R5F101BE, R5F101BD, R5F101BC, R5F101BA, R5F100AG, R5F100AF, R5F100AE, R5F100AD, R5F100AC, R5F100AA, R5F101AG, R5F101AF, R5F101AE, R5F101AD, R5F101AC, R5F101AA, R5F1008E, R5F1008D, R5F1008C, R5F1008A, R5F1018E, R5F1018D, R5F1018C, R5F1018A, R5F1007E, R5F1007D, R5F1007C, R5F1007A, R5F1017E, R5F1017D, R5F1017C, R5F1017A, R5F1006E, R5F1006D, R5F1006C, R5F1006A, R5F1016E, R5F1016D, R5F1016C, R5F1016A
RL78/G14	R5F104AA, R5F104AC, R5F104AD, R5F104AE, R5F104BA, R5F104BC, R5F104BD, R5F104BE, R5F104CA, R5F104CC, R5F104CD, R5F104CE, R5F104EA, R5F104EC, R5F104ED, R5F104EE, R5F104FA, R5F104FC, R5F104FD, R5F104FE, R5F104GA, R5F104GC, R5F104GD, R5F104GE, R5F104JC, R5F104JD, R5F104JE, R5F104LC, R5F104LD, R5F104LE

第2章 ユーザーズ・マニュアルについて

本製品に対応したユーザーズ・マニュアルは、次のようになります。本文書と合わせてお読みください。

マニュアル名	資料番号
CubeSuite+ V2.02.00 RL78 デバッグ編	R20UT2687JJ0100 R20UT2867JJ0100
CubeSuite+ V2.02.00 メッセージ編	R20UT2871JJ0100

第3章 アンインストール時の選択キーワード

本製品をアンインストールする場合は、統合アンインストーラを使用してCubeSuite+自体をアンインストールしてください。

第4章 変更点

本章では、OS タイマ対応シミュレータの V3.00.01 から V3.05.00 の変更点について説明します。

4.1 OSタイマ対応シミュレータの変更点

4.1.1 データフラッシュの扱いについて

データフラッシュ領域については読み込みのみ可能です。通常の ROM アクセスと同等の扱いになります。V3.05.00 で変更されました。

第5章 注意事項

本章では、RL78 OS タイマ対応シミュレータの注意事項について説明します。

注意事項は以下の2点に分けて説明します。

- ・ CPUに関する注意事項
- ・ 周辺機能（タイマ, その他）に関する注意事項

5.1 CPUに関する注意事項

5.1.1 CPU動作クロックに関する注意事項

CPU 動作クロックは RL78/G13 の仕様で動作します。

5.1.2 乗除算器, 積和演算器に関する注意事項

RL78 の命令シミュレーションを行う場合, 乗除算器や積和演算器の使用に関して以下の注意事項があります。

- 乗除算器や積和演算器を除算モードで使用した場合, 除算処理は1クロックで終了します。

5.1.3 PMCレジスタの対応

PMC レジスタのデバイスの仕様は品種によって「0 固定」、または「0,1に可変」です。

5.2 周辺機能（タイマ, その他）に関する注意事項

5.2.1 クロック設定に関する注意事項

動作クロック ($f_{clk}/2^n$) が, 233Hz を下回る設定はできません。

(タイマ・クロック選択レジスタ (TPSm) で動作クロックの選択が可能ですが, 動作クロックが 233Hz 以下となる設定ではクロックの供給が正しく行えず, Run-Break Timer などの値が不正となります。)

5.2.2 クロック発生回路に関する注意事項

以下のクロック発生回路の制御レジスタに対応していません。

- ・ 発信安定時間カウンタ状態レジスタ (OSTC)
- ・ 高速内蔵発振トリミング・レジスタ (HIOTRM)

以下のクロック動作モード制御レジスタに対応していません。

- ・ X1 クロック発振周波数の制御 (AMPH)
- ・ XT1 発振回路の発振モード選択 (AMPHS1, AMPHS0)

5.2.3 ノイズ・フィルタ機能に関する注意事項

ノイズ・フィルタ機能に対応していません。

5.2.4 RL78/G14使用時の注意事項

L78/G14 の場合、デバイスは高速内蔵発振クロック周波数 (fHOCO) を 48MHz 以上に設定すると、fIH は fHOCO の 1/2 へ設定され、fHOCO に 32MHz 以下を設定すると、fIH は分周されず fHOCO と同じ周波数になる仕様です。

しかし本シミュレータでは、fHOCO を 64MHz または 48MHz に設定した場合も、分周されずに fHOCO の設定した周波数になります。

ご注意書き

1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器・システムの設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因して、お客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
2. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
3. 本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害に関し、当社は、何らの責任を負うものではありません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。かかる改造、改変、複製等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。
標準水準： コンピュータ、OA機器、通信機器、計測機器、AV機器、
家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、
防災・防犯装置、各種安全装置等
当社製品は、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム（原子力制御システム、軍事機器等）に使用されることを意図しておらず、使用することはできません。たとえ、意図しない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に損害が生じても、当社は一切その責任を負いません。なお、ご不明点がある場合は、当社営業にお問い合わせください。
6. 当社製品をご使用の際は、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他の保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
8. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制するRoHS指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は、一切その責任を負いません。
9. 本資料に記載されている当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。また、当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍用用途に使用しないでください。当社製品または技術を輸出する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。
10. お客様の転売等により、本ご注意書き記載の諸条件に抵触して当社製品が使用され、その使用から損害が生じた場合、当社は何らの責任も負わず、お客様にてご負担して頂きますのでご了承ください。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。

注1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注1において定義された当社の開発、製造製品をいいます。



ルネサスエレクトロニクス株式会社

■営業お問合せ窓口

<http://www.renesas.com>

※営業お問合せ窓口の住所は変更になることがあります。最新情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ルネサス エレクトロニクス株式会社 〒100-0004 千代田区大手町2-6-2（日本ビル）

■技術的なお問合せおよび資料のご請求は下記へどうぞ。
総合お問合せ窓口：<http://japan.renesas.com/contact/>